

4 地域別人口

(1) 市・郡別人口

—— 市部の人口は1,251,010人、県全体の68% ——

三重県の人口を市部・郡部別にみると、市部1,251,010人、郡部590,497人で、三重県総人口に占める割合は、市部68%、郡部32%となっている。

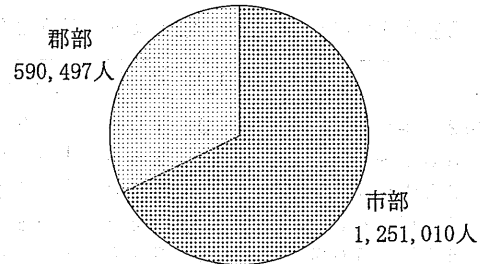
平成2年と比べると、市部人口3.31%、郡部人口1.53%の増加を示しており、増加率は市部人口の方が高く、その結果、市部人口の割合が0.38ポイント上昇した。(表8、図5)

なお、人口密度は1km²当たり市部624人、郡部157人で市部と郡部では4倍の大きな差がある。また、性比は市部95.2、郡部92.7となっている。

表8 市・郡部別人口(平成2年・7年)

年次	人口(人)		割合(%)	
	市部	郡部	市部	郡部
平成2年	1,210,901	581,613	67.6	32.4
7年	1,251,010	590,497	67.9	32.1

図5 市・郡部別人口(平成7年)



(2) 地域別人口

—— 伊賀地域の高い増加傾向続く ——

地域別人口をみると、北勢地域が784,245人、中勢地域が499,059人、南勢地域が282,219人、伊賀地域が181,345人、東紀州地域が94,639人となっている。三重県人口に占める割合は、北勢地域42.6%、中勢地域27.1%、南勢地域15.3%、伊賀地域9.8%、東紀州地域5.1%となっている。

平成2年～7年の増加率をみると、南勢地域の減少率が昭和60年～平成2年の1.7%から0.4%に縮小したほか、他の地域では昭和60年～平成2年と同様の傾向にあり、伊賀地域では8.8%と高い増加率を示している。(表9、図6、図7)

表9 地域別人口、人口割合及び人口増加率(昭和60年～平成7年)

地域	昭和60年		昭和60年～平成2年 人口増加率	平成2年		平成2年～7年 人口増加率	平成7年	
	人口	人口割合		人口	人口割合		人口	人口割合
三重県	1,747,311人	100.0%	2.6%	1,792,514人	100.0%	2.7%	1,841,507人	100.0%
北勢地域	718,327	41.1	4.9	753,698	42.0	4.1	784,245	42.6
中勢地域	481,852	27.6	1.6	489,328	27.3	2.0	499,059	27.1
南勢地域	288,384	16.5	-1.7	283,431	15.8	-0.4	282,219	15.3
伊賀地域	153,320	8.8	8.7	166,685	9.3	8.8	181,345	9.8
東紀州地域	105,428	6.0	-5.7	99,372	5.5	-4.8	94,639	5.1

図6 地域別人口増加率(昭和60年～平成7年)

■昭和60年～平成2年 ■平成2年～7年

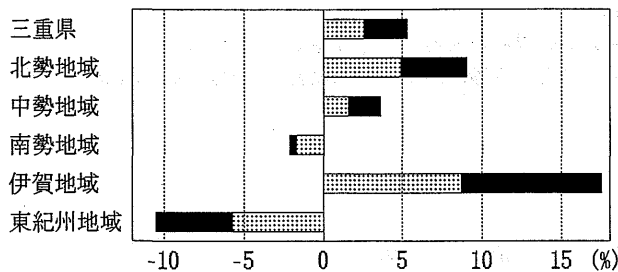
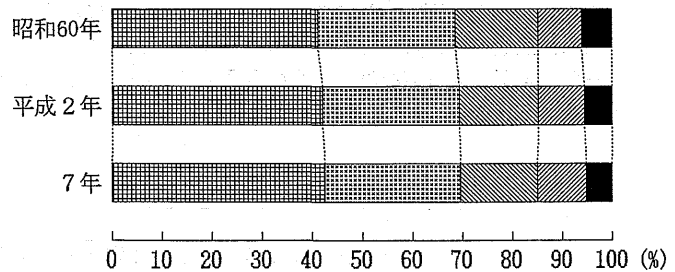


図7 地域別人口割合の推移(昭和60年～平成7年)

■北勢地域 ■中勢地域 ■南勢地域 ■伊賀地域 ■東紀州地域



5 市町村別人口

(1) 人口

—— 桑名市の人口10万人を上回る ——

三重県の人口を市町村別にみると、県下69市町村（13市47町9村）のうち、四日市市が285,777人と最も多く、次いで鈴鹿市179,795人、津市163,309人、松阪市122,449人、桑名市103,049人、伊勢市102,631人と続いており、この6市が10万人を超えている。今回はじめて桑名市が10万人を上回り、伊勢市と順位が逆転した。（表10）

また、町村では菰野町が35,119人と最も多く、次いで東員町26,235人、阿児町22,212人、明和町21,856人の順となっており、この4町が2万人を超えている。（表11）

人口の少ない市町村は、大内山村（1,590人）、紀和町（1,810人）、島ヶ原村（2,933人）、などとなっている。（表12）

表10 人口10万人以上の市

順位	市名	人口（人）
1	四日市市	285,777
2	鈴鹿市	179,795
3	津市	163,309
4	松阪市	122,449
5	桑名市	103,049
6	伊勢市	102,631

表11 人口2万人以上の町

順位	町名	人口（人）
1	菰野町	35,119
2	東員町	26,235
3	阿児町	22,212
4	明和町	21,856

表12 人口の少ない市町村

順位	市町村	人口（人）
1	大内山村	1,590
2	紀和町	1,810
3	島ヶ原村	2,933
4	宮川村	4,184
5	美里村	4,478

(2) 人口密度

人口密度を市町村別にみると、桑名市が1km²当たり1,798人と最も多く、以下鵜殿村1,666人、津市1,603人、小俣町1,583人、四日市市1,448人と続き、11市町村で1,000人を超えている。（表13）

表13 人口密度1,000人/km²以上の市町村

順位	市町村名	人口密度（人/km ² ）	順位	市町村名	人口密度（人/km ² ）
1	桑名市	1,798	7	楠町	1,397
2	鵜殿村	1,666	8	香良洲町	1,397
3	津市	1,603	9	川越町	1,247
4	小俣町	1,583	10	東員町	1,157
5	四日市市	1,448	11	朝日町	1,152
6	御菌村	1,423			

(3) 市町村別人口の推移

—— 39市町村で人口増加 ——

この5年間の人口の推移を市町村別にみると、69市町村のうち39市町村（9市27町3村）で増加し、30市町村（4市20町6村）で減少している。（表14）

表14 人口増加率別市町村数（昭和45年～平成7年）

人口増加率	昭和45年～50年	昭和50年～55年	昭和55年～60年	昭和60年～平成2年	平成2年～7年
総数	69	69	69	69	69
人口増加市町村	43	40	42	33	39
増加率20%以上	1	3	3	2	0
10～20%未満	10	6	3	2	2
5～10	12	8	12	6	14
0～5	20	23	24	23	23
人口減少市町村	26	29	27	36	30
減少率0～5%未満	18	23	20	25	18
5～10	7	5	6	9	11
10～20	1	0	1	2	1
20%以上	0	1	0	0	0

— 13市町村で増加率上昇—

昭和60年～平成2年の人口増加率と比べると、引き続き増加している市町村数は30市町村（8市19町3村）であった。このうち増加率が上昇したのは13市町村（2市9町2村）、低下したのは17市町村（6市10町1村）であった。
 また、人口が減少から増加に転じたのは9市町（1市8町）、増加から減少に転じたのは3町村（2町1村）であった。
 さらに、人口が引き続き減少している市町村数は27市町村（4市18町5村）で、このうち減少率が上昇したのが14市町村（2市9町3村）、低下したのが13市町村（2市9町2村）であった。（表15）

表15 市町村別人口増減率類型

引 き 続 き 増 加		減少から増加へ	増加から減少へ	引 き 続 き 減 少		
増加率上昇	増 加 率 低 下			減少率低下	減少率上昇	
松阪市 桑名市 菰野町 一志町 嬉野町 三雲町 玉城町 小俣町 御菌村 伊賀町 大山田村 青山町 阿児町	津市 鈴鹿市 亀山市 長島町 大安町 桶町 安濃町 度会町 鷺殿村	四日市市 名張市 久居市 木曾岬町 東員町 関町 明和町 阿山町	上野市 北勢町 員弁町 朝日町 川越町 芸濃町 多気町 磯部町 御浜町	多度町 河芸町 美里村	尾鷲市 鳥羽市 香良洲町 飯高町 大台町 宮川村 二見町 南勢町 南島町 紀勢町 大内山村 志摩町 海山町	伊勢市 熊野市 藤原町 白山町 美杉村 飯南町 勢和村 大宮町 島ヶ原村 浜島町 大王町 紀伊長島町 紀宝町 紀和町
2市9町2村	6市10町1村	1市8町	2町1村	2市9町2村	2市9町3村	

— 青山町の増加率16.4%—

人口増加数の多い市町村をみると、四日市市の11,597人を最高に、以下、名張市10,981人、津市6,132人、鈴鹿市5,690人、桑名市5,140人と続いており、この5市が増加数5,000人を超えている。（表16）
 増加率では、青山町が16.4%と最も高く、次いで名張市15.9%とこの2市町が10%を超えている。名張市の増加率は全国665市のうちで第10位の伸び率となっている。以下、菰野町8.9%、川越町8.8%、伊賀町8.7%と続いている。（表17）
 人口減少数の多い市町村では、尾鷲市の1,856人を最高に、伊勢市1,533人、熊野市1,461人と続いており、この3市が減少数1,000人を超えている。（表18）
 減少率では、紀和町が12.3%と最も高く、以下美杉村9.3%、飯高町8.4%、大内山村7.6%、南島町7.5%と続いている。（表19）

表16 人口増加数の多い市町村

順位	市町村名	増加数
1	四日市市	11,597人
2	名張市	10,981
3	津市	6,132
4	鈴鹿市	5,690
5	桑名市	5,140

表17 増加率の高い市町村

順位	市町村名	増加率
1	青山町	16.4%
2	名張市	15.9
3	菰野町	8.9
4	川越町	8.8
5	伊賀町	8.7

表18 人口減少数の多い市町村

順位	市町村名	減少数
1	尾鷲市	1,856人
2	伊勢市	1,533
3	熊野市	1,461
4	美杉村	819
5	白山町	774

表19 減少率の高い市町村

順位	市町村名	減少率
1	紀和町	12.3%
2	美杉村	9.3
3	飯高町	8.4
4	大内山村	7.6
5	南島町	7.5

(4)人口性比

—— 員弁町の性比108.9 ——

市町村別人口を男女別にみると、性比が100を超えている、すなわち女子より男子が多い市町村は、員弁町（108.9）、木曾岬町（100.9）、鈴鹿市（100.5）、の1市2町であった。（表20）

一方、性比の低い市町村は、紀和町（78.1）、宮川村（85.0）、志摩町（85.2）などとなっている。（表21）

表20 性比の高い市町村

順位	市町村名	性比
1	員 弁 町	108.9
2	木 曾 岬 町	100.9
3	鈴 鹿 市	100.5
4	白 山 町	99.8
5	朝 日 町	99.5

表21 性比の低い市町村

順位	市町村名	性比
1	紀 和 町	78.1
2	宮 川 村	85.0
3	志 摩 町	85.2
4	大 王 町	85.3
5	大 内 山 村	85.5

性比：女子100人に対する男子の数

6 世帯

(1) 全国の世帯

—— 全国の世帯数は4,407万世帯 ——

全国の世帯数は、44,072,480世帯で、平成2年に比べて3,036,703世帯、率にして7.4%増加した。世帯数の増加率は、人口の増加率（1.6%）を大きく上回っており、1世帯当たり人員は、平成2年には3.01人であったが平成7年は2.85人と減少した。

都道府県別では、全ての都道府県で世帯数は増加しており、各都道府県で世帯数の増加率が人口増加率を上回ったため、1世帯当たりの人員はすべての都道府県で平成2年より減少した。

(2) 三重県の世帯

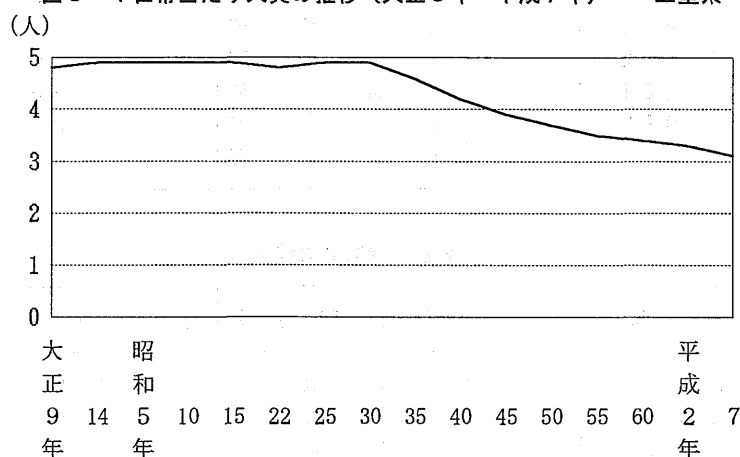
—— 三重県の世帯数は596,664世帯 ——

三重県の世帯数は、596,664世帯で全国世帯数44,072,480世帯の1.4%を占め、全国第24位である。平成2年と比べると、50,547世帯、率にして9.3%の増加であった。

1世帯当たりの世帯人員は、平成2年は3.28人であったが、平成7年は3.09人となり世帯の縮小傾向が続いている。

(図8)

図8 1世帯当たり人員の推移（大正9年～平成7年） — 三重県



(3) 市町村の世帯

—— 四日市市の世帯数95,262世帯 ——

三重県の世帯数を市町村別にみると、四日市市が95,262世帯と最も多く、県全体の16.0%を占めており、以下、津市59,873世帯、鈴鹿市57,737世帯と続いている。（表22）

一方、世帯数の少ない市町村をみると、大内山村が606世帯と最も少なく、次いで島ヶ原村802世帯、紀和町923世帯と続いている。（表23）

1世帯当たりの人員についてみると、最も多いのは度会町の4.03人で、度会町のみが4人を超えている。次いで、多度町3.85人、明和町3.80人と続いている。また、最も少ないのは、紀和町の1.96人で、紀和町のみが2人を下回っている。次いで、尾鷲市2.44人、熊野市2.45人と続いている。（表24、表25）

表22 世帯数の多い市町村

順位	市町村名	世帯数
1	四日市市	95,262
2	津市	59,873
3	鈴鹿市	57,737
4	松阪市	40,339
5	伊勢市	34,149

表23 世帯数の少ない市町村

順位	市町村名	世帯数
1	大内山村	606
2	島ヶ原村	802
3	紀和町	923
4	美里村	1,227
5	宮川村	1,452

表24 1世帯当たり人員の多い市町村

順位	市町村名	世帯人員(人)
1	度会町	4.03
2	多度町	3.85
3	明和町	3.80
4	阿山町	3.80
5	勢和村	3.72

表25 1世帯当たり人員の少ない市町村

順位	市町村名	世帯人員(人)
1	紀和町	1.96
2	尾鷲市	2.44
3	熊野市	2.45
4	御浜町	2.52
5	紀宝町	2.60

— 員弁町の世帯数増加率28.5% —

世帯数の平成2年～7年の増減を市町村別にみると、58市町村(11市41町6村)で増加し、11市町村(2市6町3村)で減少している。

増加数では、四日市市が9,249世帯と最も多く、以下、津市5,931世帯、名張市4,512世帯と続いている。一方、減少数では、紀和町の79世帯が最も多く、以下尾鷲市66世帯、飯高町56世帯と続いている。(表26, 表27)

また、増加率についてみると、員弁町の28.5%を最高に、以下、青山町25.2%、名張市23.2%と続いている。一方、減少率については、紀和町の7.9%を最高に、以下、飯高町2.9%、飯南町2.4%と続いている。(表28, 表29)

表26 世帯数の増加数

順位	市町村名	世帯数
1	四日市市	9,249
2	津市	5,931
3	名張市	4,512
4	桑名市	4,201
5	鈴鹿市	3,993

表27 世帯数の減少数

順位	市町村名	世帯数
1	紀和町	79
2	尾鷲市	66
3	飯高町	56
4	飯南町	46
5	浜島町	39
5	大安町	39

表28 世帯数の増加率

順位	市町村名	増加率(%)
1	員弁町	28.5
2	青山町	25.2
3	名張市	23.2
4	川越町	22.6
5	一志町	18.6

表29 世帯数の減少率

順位	市町村名	増加率(%)
1	紀和町	7.9
2	飯高町	2.9
3	飯南町	2.4
4	浜島町	1.9
5	大内山村	1.8